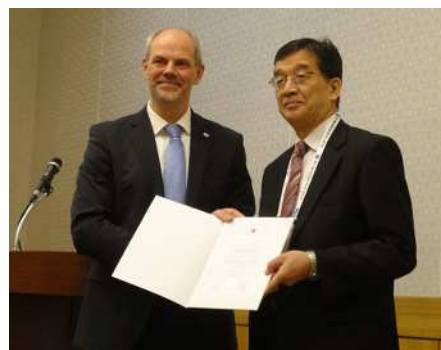


### 2018 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

IEC TC 77 国際議長  
東京大学  
大崎博之

2018 年 10 月に IEC 大会が韓国の釜山で開催されました。10 月 22 日に開催された標準管理評議会 (SMB : Standardization Management Board) において、SMB 議長 (IEC 副会長) の Ralph Sporer 氏から 2018 年 IEC Thomas A. Edison Award を拝受いたしました。

このような賞をいただき大変光栄に思います。この賞は、IEC の標準化活動に貢献した TC/SC の議長・幹事に与えられるもので、TC 77 (電磁両立性 (EMC)) の国際議長としての貢献が評価されたものです。これは、ひとえに TC 77 の国内委員会と (一社) 電気学会、その他関係するの方々のご協力の賜物で、心より感謝申し上げます。



私が TC 77 国際議長に就いたのは 2011 年 6 月で、7 年半 [左: Sporer SMB 議長、右: 大崎 TC 77 議長] ほどが経過しました。前任は徳田正満先生で、二代続いて日本から TC 77 国際議長が出たこととなります。議長に就任した年の 10 月下旬に、IEC 大会にあわせて、TC 77 会議をオーストラリアのメルボルンで開催したのですが、Secretary は健康上の理由で TC 77 会議に出席できないだけでなく、準備も進められないという事態となりました。そこでその年の 9 月に急遽、Bernd Jaekel 氏が Assistant Secretary に就任し、10 月の TC 77 会議の準備を大急ぎでスタートしました。また、Technical Officer も交代となり、TC 77 会議を運営する側が全て新任という状況になり、なかなか厳しいスタートとなりました。しかし、彼らが万全の準備を進め、傘下の Subcommittee の議長や幹事の方々にもサポートをしていただいで、結果的にうまく会議を運営することができました。

TC 77 はその傘下に 3 つの Subcommittees をもち、それぞれ、低周波 EMC, 高周波 EMC, 電磁界過渡現象を担当していて、親委員会としての TC 77 は共通的な部分を主に担当しています。また、CAG (Chairman's Advisory Group) は、共通の問題に関する円滑なコミュニケーションと議論を行うために必要な全体の調整や共通的な方針検討などを行っています。CAG には CISPR の議長と Secretary も参加し、電磁両立性分野の標準化活動全般の調整において重要な場となっています。

TC 77 とその Subcommittees が担当する IEC 61000-6 シリーズの中で、TC 77 が担当する規格の代表的なものが、電磁環境の概要と分類をまとめた技術報告書 IEC TR 61000-2-5 と、イミュニティ共通規格としての IEC 61000-6-1, 61000-6-2, 61000-6-5 です。2017 年に発行された IEC TR 61000-2-5 Ed.3 では、LTE, スマートグリッド, 分散型電源などの最新の技術動向を反映した内容の追加, 修正等を行い、これは電磁両立性に関わる規格を開発する専門家にとって重要なガイダンスとして、今後も広く使用されると考えています。

また、3つのイミュニティ共通規格はそれぞれ「住宅, 商業及び軽工業環境」, 「工業環境」, 「発電所及び変電所環境」を対象とするもので、最新技術動向を反映して 2015 年~2016 年にかけて改定を行いました。これらは TC 77 が発行する水平規格の代表的なものであり、製品規格や製品群規格を含む、いろいろな規格の EMC に関わる部分を規定する際に基礎となる内容を記述しています。

EMC 分野でこの数年、重要な議論が行われてきたのが、2~150 kHz の周波数領域の非意図的なエミッション（ディファレンシャルモード）に対する両立性レベルです。SC 77A を中心に、CISPR や ACEC、および TC 13 や TC 22 などの関連 TC 等も含めて、活発な議論が行われ、SC 77A によって IEC 61000-2-2 Ed.2 の Amendment として発行されました。現在は、エミッションレベルの議論が進められています。

TC 77 議長になってから、TC 77 代表として IEC ACEC の委員も務め、2015 年からの 3 年間は副議長も務めさせていただきました。その間、EMC 分野の Young Professionals Program を推進し、EMC に興味を持つ Young Professionals への情報提供や活動への手助けをすべく、ACEC の中で議論や作業を進めてきました。

私の TC 77 国際議長としての任期は残り 1 年半ほどになりました。今後も任務をきちんと果たし、IEC 活動に貢献していく所存です。最後に、ご推薦をいただきました電気学会、IEC-APC、さらに、多大なご支援をいただいた SMB 委員の江崎様、経済産業省の皆様にお礼申し上げます。

以上